

平成27年度「全国学力・学習状況調査」における 大里南 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数，理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

(1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育

施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数，理科）

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

大里南 小学校「平成27年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

1. 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査（国語A・B，算数A・B，理科）結果

		国語A	国語B	算数A	算数B	理科
平成25年度	本市	60.3	46.3	74.6	56.5	
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	
平成26年度 (理科：平成24年度)	本市	69.1	52.6	76.2	55.4	59.7
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2	60.9
平成27年度	本市	67.1	62.1	73.3	43.7	57.3
	全国	70	65.4	75.2	45	60.8

② 学力調査結果の分析

国語A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率をやや下回った。 漢字を正しく書く、文の中における主語を捉える、話の内容に対する聞き方を工夫する、新聞のコラムを読んで表現の工夫を捉えるなど書く力を問う問題に課題があり、書くことを習慣化する必要がある。 	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことや作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る問題では、全国平均正答率を上回った。	下回っている
	努力が必要な問題	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことや正しく書く問題については、無回答率が高かった。	

国語B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率をわずかに下回った。特に、国語への関心・意欲・態度を評価する問題、自分の考えを書く記述式の問題については、全国平均正答率を下回った。 	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする問題は、全国平均正答率をやや上回った。	下回っている
	努力が必要な問題	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く、登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する問題は、無回答率が高かった。	

算数A	全体的な傾向や特徴など	全国平均正答率をやや上回った。16問中13問が全国平均正答率を上回っており、数と計算や量と測定などの基礎的な内容の理解ができていた。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	小数の加法・減法の計算、末尾の位のそろっていない小数の減法、除数が整数である場合の分数の除法の計算をするなどの問題は、正答率が高かった。	上回っている
	努力が必要な問題	示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択する問題は、平均正答率が低かった。	

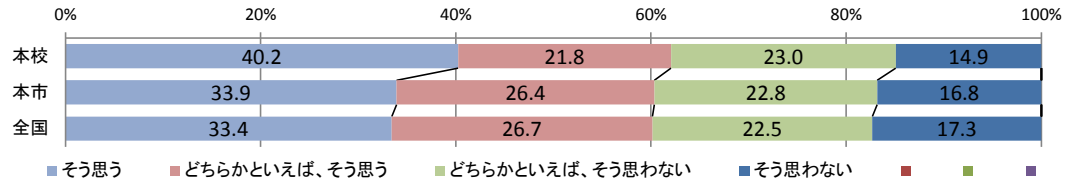
算数B	全体的な傾向や特徴など	全体的には全国平均正答率をやや下回ったが、数量や図形についての知識・理解についての問題については、全国平均正答率を上回ることができた。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解する問題や四捨五入して千の位までおよその数として計算する問題については、全国平均正答率を上回った。	下回っている
	努力が必要な問題	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述する、正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、アの角が30°になる理由を記述する問題等記述式の問題の無回答率が高かった。	

理科	全体的な傾向や特徴など	全体的には、全国平均正答率を下回った。特に、記述式問題に対する平均正答率が低く、国語科算数科と同じように、日常の授業記録や自分の考え（予想・まとめ・わかったこと・振り返りなど）を書くことを習慣化する必要がある。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善する問題やメスシリンダーの名称を理解する問題は、全国平均正答率を上回った。	下回っている
	努力が必要な問題	顕微鏡の名称を理解する、水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解するなどの観察実験の技能や自然事象についての知識・理解の問題は、無回答率が高かった。	

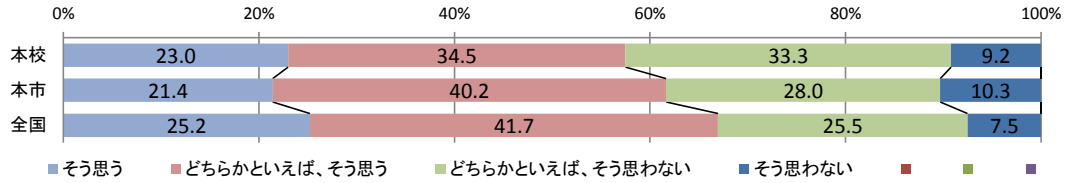
③ 学校での学習状況に関する調査結果

質問番号
質問事項

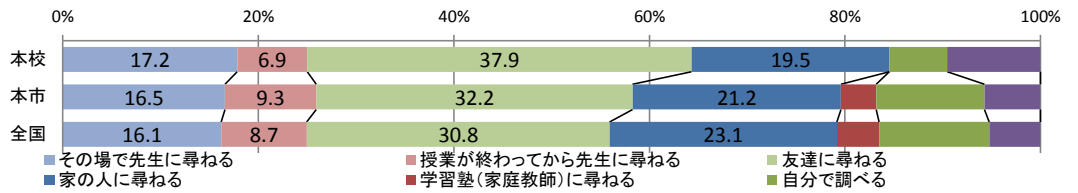
44
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。



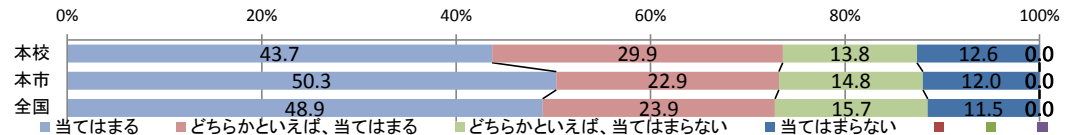
46
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。



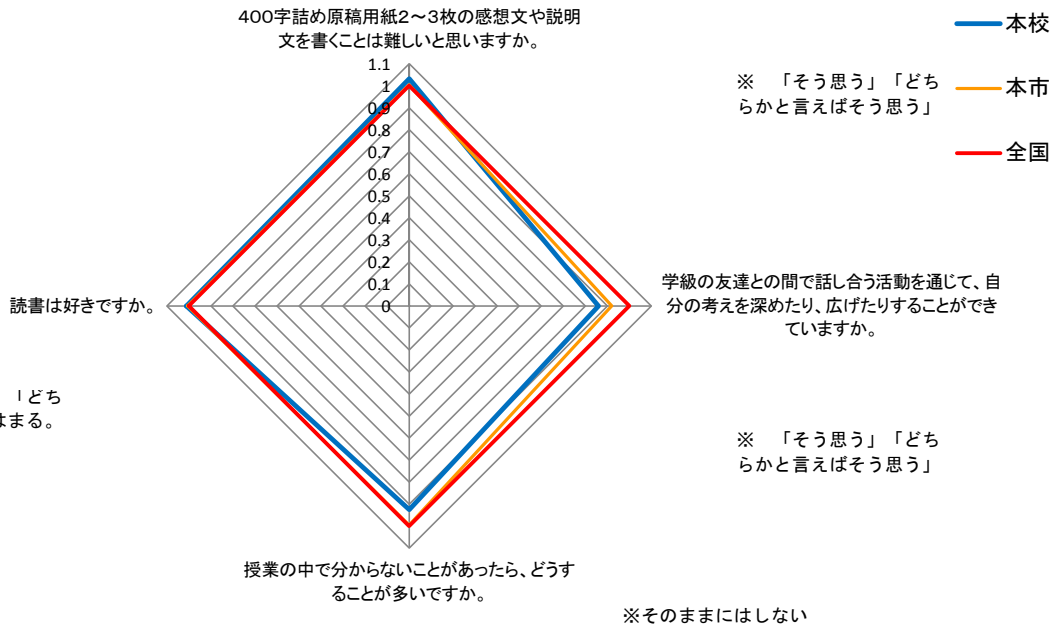
47
授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。



51
読書は好きですか。



④ 本校と本市の対全国比（全国を1とする）



⑤ 学校における学習状況に関する調査結果の分析

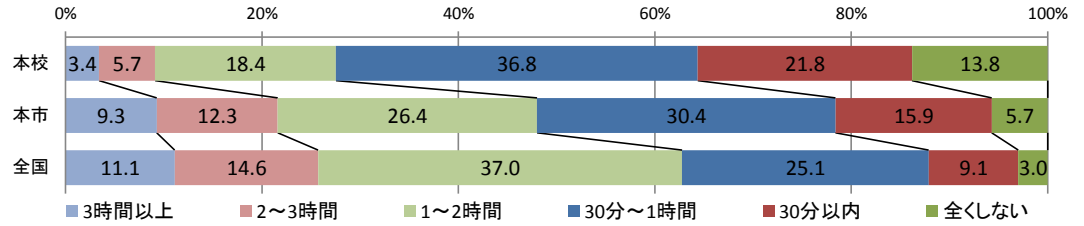
- ・ 文章に書くことに抵抗感を持っている児童が年々増加する傾向にある。書くことに関しては、学力調査の結果からも、無回答率が高くなる傾向があり、自分の考えを書いてから説明させたり、授業の終わりに振り返りを書く活動を位置付けたりして、書くことを日常の授業に習慣化する必要がある。
- ・ 話し合い活動では、全国平均を少し下回っており、日常の授業の中で、ペア学習やグループ学習を工夫して、話し合い活動を通して思考が深まるように指導・支援して行きたい。
- ・ 授業などで、分からないことがあったら、先生よりも友達や家の人に尋ねることが多く、教師とのコミュニケーションや信頼関係をもっと高めて行く必要がある。自分で調べるが全国や市の平均よりも低く、そのままにしておくが9.2%と多くいることが課題であり、自力解決の力を児童に育てなければならない。・ 読書への関心についても、全校平均を下回っているため、課題読書の時間を多く設定して、児童の意識を改善していきたい。

2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

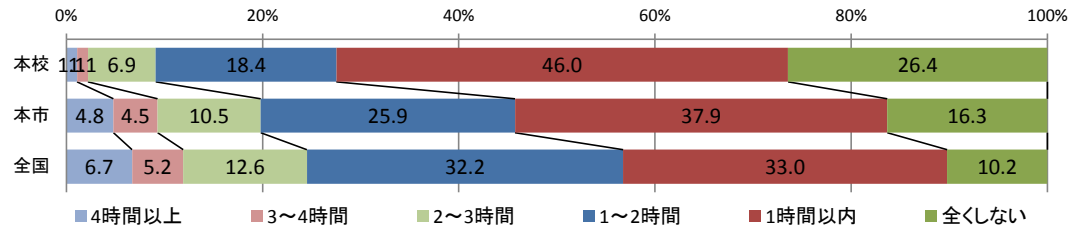
① 家庭学習習慣に関する調査結果

質問番号
質問事項

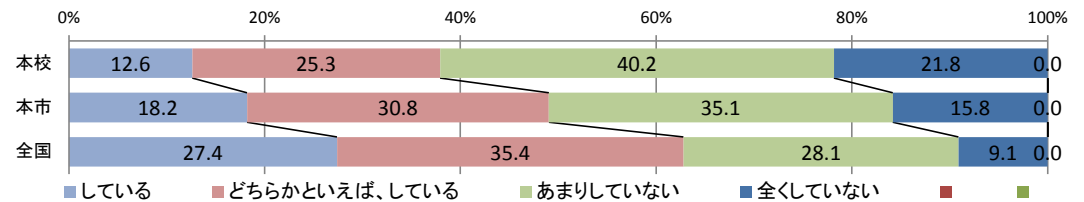
13
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)



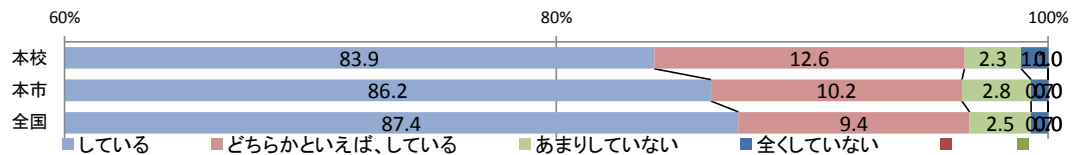
14
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)



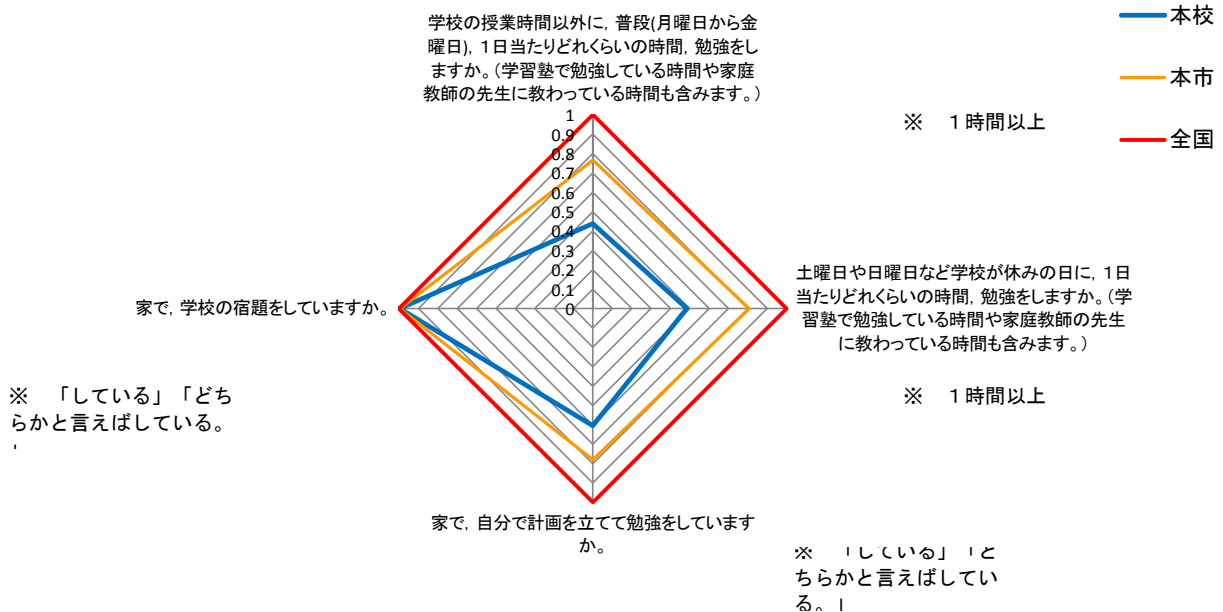
20
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



21
家で、学校の宿題をしていますか。



② 本校と本市の対全国比 (全国を1とする)



③ 家庭学習習慣に関する調査結果の分析

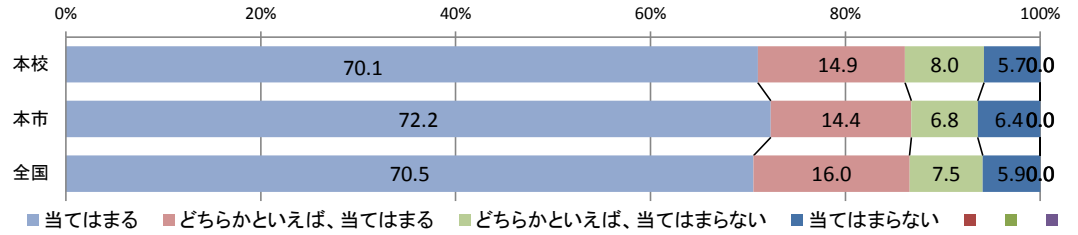
・ 普段1時間以上家庭学習をしている児童の割合は、本市や全国よりかなり低く課題が見られる。また、休日に家庭学習を1時間以上している割合も本市や全国より低く、家庭学習の絶対量が少ない実態を把握することができた。学校の宿題のみの家庭学習をしている児童が多く、宿題以外の家庭学習の具体的な取り組み方を指導する必要がある。

・ 自分で計画して勉強している児童の割合も本市よりも低く、全国より10ポイント以上差がある状況が続いており課題である。

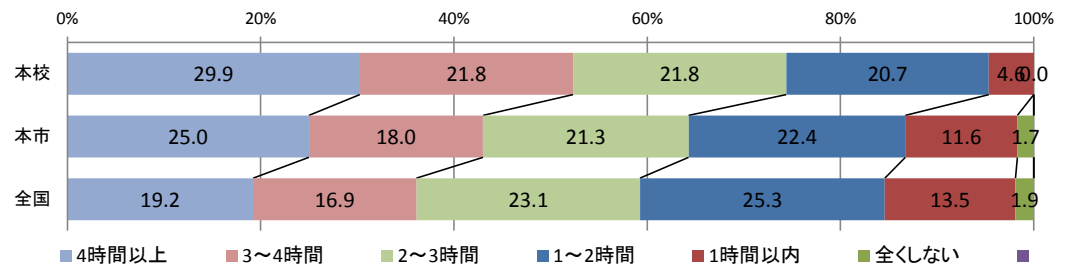
④ 生活習慣等に関する調査結果

質問番号
質問事項

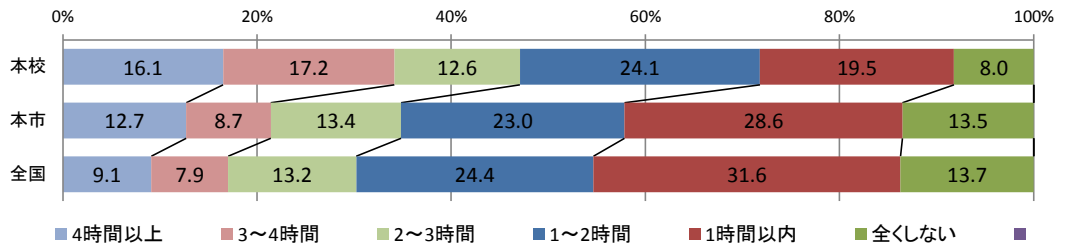
9
将来の夢や目標を持っていますか。



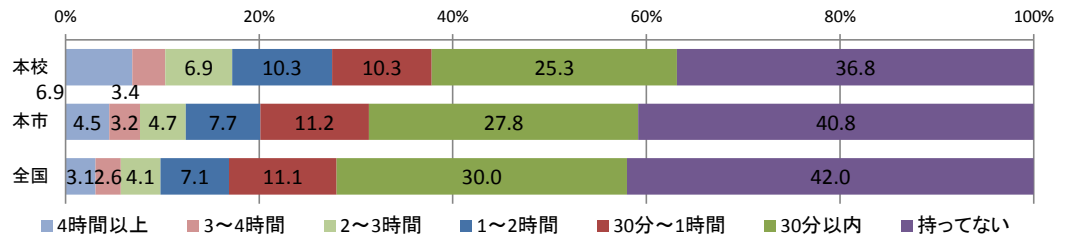
10
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除きます。)



11
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか。



12
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます。)

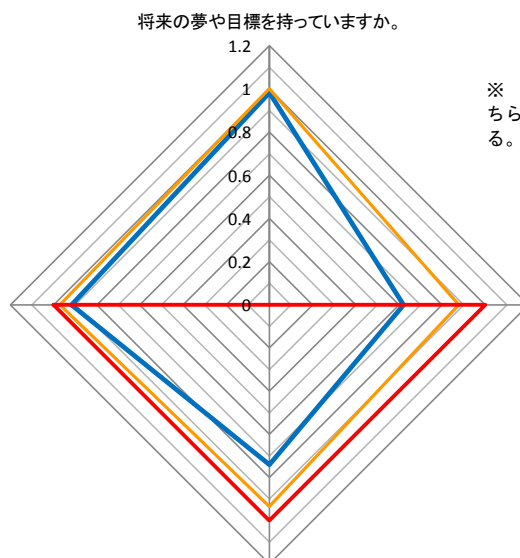


⑤ 本校と本市の対全国比(全国を1とする)

将来の夢や目標を持っていますか。

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます。)

※ 2時間以下



※ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる。」

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除きます。)

※ 2時間以下

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか。

※ 2時間以下

— 本校
— 本市
— 全国

⑥ 生活習慣等に関する調査結果の分析

・将来の夢や目標をもっている児童は、本市や全国の児童の割合と同じくらいいる。それぞれの夢や目標を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結び付けさせることが必要である。

・普段、1日あたり2時間以上テレビ等の接触時間は、全国や本市の割合を上回っており、昨年度より3時間以上の児童の割合が増加したのは課題である。

・普段1日あたりのテレビゲーム等の時間や携帯電話やスマートフォンやメール、インターネットの使用が、昨年度より3時間以上の児童の割合が増加したのも課題であり改善が必要である。

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

○ 算数科の関心・意欲・態度の力を高めるために、わかる楽しさを児童に味わわせる主題研究3年次(「算数科のおもしろさを味わわせるための授業づくり」)の研究実践に全職員で取り組む。特に、導入時や学習後の振り返りについては、改善を図る。

○ 国語科の授業については、校内研修会を実施し、思考力を育てるための発問や板書の仕方等を研修し、工夫と改善を図る。

○ 学力向上推進委員会による朝の大南タイム1（8：40～8：50）の内容（月：算数、火：読書、水：ひまわり、木：漢字、金：算数）の課題(計算プリントの問題等の内容の充実、課題読書や個に応じた読書活動の充実、ひまわりの暗唱の仕方の充実と音読発表会の設定、漢字テストの内容の充実、)の工夫と改善を図る。

○ 各学年・少人数指導担当・理科専科指導担当による大南タイム2における宿題の内容（過去問やアシストシートの活用等)の工夫と改善とその実践を図る。

○ 個に応じた指導の充実のために、各担任や少人数指導担当、理科専科指導担当による習熟度別指導や課題別によるTT指導等の工夫とその実践を図る。

○ 学力向上推進委員会による自主学習の推進と「家庭学習マイスター賞」の応募数の拡大を図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○ 学力向上推進委員会による児童の学習習慣<学習用具の共通理解・学習の取り組み方(学習態度・ノート指導・発表の仕方等)>の定着を図る。

○ 生徒指導部会、学校保健安全委員会による生活習慣<あいさつ・言葉遣い・名札の着用・チャイム席・落ち着いた学校生活のための事故防止推進のための（廊下や階段歩行・教室移動の際の静かな廊下や階段歩行、遊びのきまり等)>の充実を図る。

○ 生活習慣や学習習慣の改善については、校長作成による学校だよりや学年作成による学年だよりによって、保護者への啓発を図る。

○ 教務主任作成による家庭学習の手引き(各学年の家庭学習の時間と内容)を保護者に配布し、保護者の協力を求める。

○ 教務主任作成による自主学習の手引き（各学年の自主学習の内容）を保護者に配布し、保護者の協力を求める。

○ 自主的に工夫して取り組んだ児童の自主学習の例を紹介し、「家庭学習マイスター」への応募への推進を図る。